



校友会・育友会共催

### なごやかに交流 「学生生活向上」で意見交換

校友会・育友会の共催による「留学生を囲む会」が12月3日、生田キャンパスで開かれた。写真。当日は留学生17人(韓国8人、中国8人、タイ1人)と日本人学生(国際交流会SSHIP)10人、留学生OB・OG、大学関係者ら48人が出席。今回は、最初に留学生・日本人学生と校友会・育友会役員とのグループ交流が行われ、留学生の学生生活向上に向けて意見が交わされた。

### 留学生を囲む会

懇親会では、高橋貞雄校友会副会長のあいさつに続き、浅見和彦経済学部長、田中實専修大学常務理事が留学生への励ましを述べ、市川健一校友会副会長の発声で乾杯し、なごやかに歓談した。



▲ 肩を組み、全員で校歌を斉唱



▲ エールを送る鈴木雅之さん



▲ 走友会メンバーも参加



日高理事長・学長を囲んで校友、育友会員のみなさん

### 250人が出席 2日間の労をねぎらう

「沿道の声援は選手の励みと団結力に」

1月3日、校友会・育友会共催の「箱根駅伝感謝する会」が、菅沼堅吾育友会会長の発声で乾杯した。今回は陸上競技部のOB会である走友会メンバーも参加。上村清芳会長(昭33商経)が「私も選手として箱根路を走りましたが、参加者は応援を終え、各応援ポイントから会場に駆けつけ、宮岡孝之専修大学理事(法科大学院教授)の司会で進行。はじめに日高義博理事長・学長が「沿道では選手たちの頑張り以上に、応援の皆さんの熱い思いを感じた。こういった団結力を専大の力に変えたい」と感謝の言葉を述べた。最後に鈴木雅之さん、岩崎哲久さん(ともに昭62法)の音頭で、校歌を斉唱し、閉会した。

### 箱根駅伝応援に感謝する会

### 伊藤志郎さんに 大学から感謝状



▲ 感謝状を手に伊藤さん

「創立130年記念事業資金」にも寄付をいただいた伊藤志郎さん(昭29商経)にこのほど大学から育研振興協力資金券

### 130年記念事業資金 教育研究振興協力資金に寄付



▲ 熱心に聴講する学生に説明する木本氏

### 田口経営学部教授の「流通論」で 東急ストアの木本彰氏が講義

田口冬樹経営学部教授の「流通論」で12月9日、特別講義が行われた。東急ストア執行役員・事業開発部長の木本彰氏が「街づくりとスーパーマーケット(東急ストアの事例をもとに)をテーマに、東急田園都市線沿線の街の開発とスーパーマーケットとのかわりについて論じ、街のニーズに合った出店展開を説明した。木本氏は「小売業は今日、群雄割拠の状況にあり、常に社会や地域顧客のニーズの変化に対応し、新しいことに挑戦する柔軟さが求められる。そこに醍醐味がある。就活の際にはぜひ小売業界にも関心を持ってほしい」と語った。最後に田口教授が、「人口の減少、ライフスタイルや法規制の変化を背景に、小売店舗がどんなプロセスを経て特定の街に出店していくのか、またスーパーマーケットの切り口としての生鮮と惣菜の重視、さらには小型店の出店など具体的な事例を通して分かりやすく講義していただいた。このような貴重な情報を今後の学習やキャリアアップに生かしてほしい」と総括した。

### 校友会からのお知らせ

- 北九州支部新年会 1月27日(木) 19時開会 会場 JR 鹿児島本線・小倉駅南口「ステーションホテル小倉」7F「八く」(093) 43221
- 二鳳会新年会 2月5日(土) 18時開会 会場 JR 山手線・鶯谷駅北口「根岸 笹乃雪」(03) 33395) 7427
- 旭川支部総会 2月12日(土) 18時開会 会場 北海道旭川市5条通8丁目「ホテルクレセント旭川」2F 圓熊谷憲雄氏(0166) 84) 5088
- 室蘭支部総会 2月18日(金) 18時30分開会 会場 北海道室蘭市宮の森町1丁目「中嶋神社」蓬峽殿

### 無料法律相談

- 2月16日(水) 鈴木 康祐先生
- 3月16日(水) 宮岡 孝之先生
- 矢野 敏生先生
- 03(3326) 41721

### 年会費受付中

2011年度の校友会年会費を受け付けています。振込用紙をお持ちでない方は事務局(03) 3265) 7579までご連絡ください。年会費納入者には「ニュース専修」を毎月、校友会誌「アドニス」を年4回お届けします。

### カード会員募集中

専修大学カード加入者を募集しています。クレジットカード機能に加え、校友会独自の協力店でサービスが受けられます。申込書は校友会事務局または三井住友カード入会案内デスク(0120) 81643まで。

### 校友短信

加藤 明良氏(かとう あきよし) 平3商

### アドニス54号刊行

校友会誌「アドニス54号」が1月15日に発行されました。主な内容は、▽映画「学校をつくる事」などとなっています。

### 専大校友を訪ねて



袴田 健さん (平3経済)

「NEWS FINE」のデスクを担う。報道番組のデスクは、取材するネタを決め、集まったニュースのどれをどう伝えるべきこと、面白く、分かりやすく、伝えるかを短時間で決定する。司令塔だ。「今伝えなくてはならないことを先取りする。どこよりも面白く、分かりやすく」。この姿勢を日々貫き、番組に投げかけ、強い大学の就職資料室にも通じ詰めた。

### 伝えるべきこと 面白く 分かりやすく

「横並びや群れることができない」だった専大時代。思いは、「種々雑多なアルバイトを体験したこと」と言う。営業部門に8年在籍した後、関西支社を経て念願の報道部門に転じた。政治部に所属した5年間、当時の小泉純一郎首相記者と官邸キャップに。 「就活」時代も報道最前線の今も、思いは同じ。「大いに高望みしよ」「マスコミ講座」を受講。道は必ず開ける。